

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	14	事業名	福祉機器リサイクル事業		事業の性質別	裁量的経費	区分			
予算事項名	大事項	福祉機器リサイクル事業費		中事項	福祉機器リサイクル事業費		部課名	保健福祉部障がい保健福祉課		
事業開始年度	平成 6 年度	根拠法令等	あり	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(函館市福祉機器リサイクル事業実施要綱)					電話番号	21-3263

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 不用になった福祉機器のうち、再利用可能なものを譲り受けて、それらの福祉機器を必要とするほかの障がい者等に給付することにより、資源の有効利用と在宅福祉の増進を図る。</p> <p>【必要性】 資源の再利用および障がい者等の経済的負担の軽減のために必要な事業である。</p>
内容	<p>○事業内容 ・再利用可能な福祉機器を譲り受け、給付する。</p> <p>○事務 ・事業の委託契約(委託先:社会福祉法人かいせい)および支払い、在庫管理・受領、給付の台帳管理</p>

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		334	164	663	399	279	
特定財源	国・道	250	123	496			
	市債						
	その他						
一般財源		84	41	167	399	279	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.03 225	人工 0.03 217	人工 0.03 219	人工 0.03 219	人工 0.03 225	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0				
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0				
	人件費(B)	225	217	219	219	225	0
総事業費計(A+B)		559	381	882	618	504	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み, その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
受領件数	件	20	10	6	
給付件数	件	7	7	4	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	資源の再利用および障がい者等の経済的負担の軽減
------	-------------------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し, どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	福祉機器を必要とする障がい者の経済的な負担増が軽減されてきた。
--------	---------------------------------

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	コスト・負担	コストの節減度	節減できていない
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	執行方法	受益者負担の適正度	適正
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		外部委託の可能性	すでに実施
評価結果から明らかになった課題事項など		当該事業は, 必要性, 有効性および執行方法について適正であると考えますが, ニーズの動向によっては, 事業内容の検討も必要と思われる。			

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現行どおり継続する。
	現行どおり	(経費について) 現行どおり継続する。

参考: 他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--